

©ラップ東京では、皆様のお役に立てるような様々な内容のコラムを発信しています。バックナンバーは www.raptokyo.co.jp から

「ユーザーファースト」

スマホでホームページを見ている人がとにかく増えていいます。アップルが iPhone を発売してから約 8 年。電車に乗っても、食事中や待ち合わせの時間でも気軽にネットができます。もともとデスクトップやノートパソコンを立ち上げて情報収集や買い物をしていたが、今はスマホで済ましているというケースも多くなりました。パソコンを持っていない、という人も珍しくありません。

当初は、パソコンでみるホームページをスマホの小さな画面でみるのは見にくく、ユーザーにとってはストレスを感じるものだったようです。GOOGLE はこの改善策として、スマホ対応をホームページの所有者（運営者）に求め、昨年 4 月、スマホでの検索順位に優遇する、と発表しました。実際、パソコンとスマホでの検索順位に多少の違いがみられているようです。

しかし、自社のサイトはスマホ対応されていると GOOGL に評価をされることが目的ではありません。パソコンからでもスマホからでもお問合せや見積り依頼を取得し、成約することが最終的なゴールです。スマホ対応（モバイルファースト[※]）はひとつのステップにすぎないことを忘れてはいけません。

もうひとつ、GOOGLE の検索順位に影響するのがユーザーの要望にそった必要な情報が掲載されているか、というものです。これは非常に抽象的で具体性がなく、自社のホームページには何を掲載していけばいいのかわかりません、とお客様からお問合せを受けることが多々あります。デザインは、会社のイメージを向上させ、見る人の目に留まる大きな効果があるため、多くの方が時間をかけて考えていると思います。しかし、検索順位を気にするならば、「ユーザーに役立つ情報」を考えることも重要かもしれません。

中には、その順位に疑問をもつ検索結果も多数ありますが、これも徐々に解決されていくとのこと。SEO 対策だけを目的にしているページが淘汰されていくことはユーザーにとっても良いことだからだと思います。

ところで、スマホでみているユーザーとパソコンでみているユーザーにどんな違いがあるのでしょうか。スマホではいつでもどこでも、アクセスしてみたいものをみる、またスキマの時間に利用といったイメージも想像できます。パソコンでは、じっくりと時間をかけて情報収集や分析をする、というイメージでしょうか。掲載のボリュームを調整する必要があるように思いますが、どちらにしてもユーザーのニーズに応えるコンテンツを最適化していくようにしなければいけないと思います。

ズームをしなくても判読できるテキスト、簡単にタップして次ページへ遷移できることなど GOOGL の求める「スマホ対応」は使いやすくて見やすいホームページで、そんなに難しい条件ではありません。やはり、何を掲載していくか？ が難しいといえます。

貴社のもつ技術や経験、知識などでお客様の役に立ったり問題を解決できる情報があると思います。お客様との接点やキッカケになるものなども視点を変えて探し、掲載できるように、まずは箇条書きからスタート。レイアウトならぬ、ユーザーファーストで考えたいと思います。

※モバイル環境の閲覧者への対応を優先したホームページを制作すること

ご案内

■ラップニュース読者の皆様へ。
ラップニュース バックナンバーは
ホームページからご覧いただけます。

<http://www.raptokyo.co.jp/>

※アンケートがありますのでよろしかったら、ご意見をお聞かせください。

ホームページの運営で 気になることはありませんか？

- ・スマホ対応って？
- ・写真やテキストを変えたい
- ・情報を更新したい
- ・ページを増やしたい（減らしたい）
- ・採用ページを作りたい
- ・検索順位が気になる… etc



お気軽にお問合せください。
TEL: 042-349-3535 (担当：田島まで)